

課題および報告事項等



国土交通省 北陸地方整備局
富山河川国道事務所
Toyama Office of River and National Highway

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

機関名・団体名：日本建設業連合会北陸支部

件名

リモートによる市民現場見学会の開催について（2022）

要旨

■開催主旨

現場見学会は、学生や一般の方に工事現場を見てもらい、興味を持ってもらうためには大変有効な手段であり、建設業界の担い手確保のためにも、継続的に開催すべきと考えている。

昨年度から、コロナ禍にあることを鑑み Web を活用して工事現場と参加者が双方向でコミュニケーションを図りながら、リモートでの現場見学会を実施した。

建設現場における最新技術の紹介や学生と年齢に近い若手職員と接してもらうことによって、建設業界をより身近に感じてもらえるのではないかと考え、「若手職員の 1 日の業務や休日の過ごし方」も含め、若手職員が建設業界を志望した動機や入社後に感じたことを学生に話をした後に質問を受け、お互いにコミュニケーションを図った。

今年度の見学工事現場として「東海北陸自動車道真木トンネル工事」に金沢大学の学生が参加した。

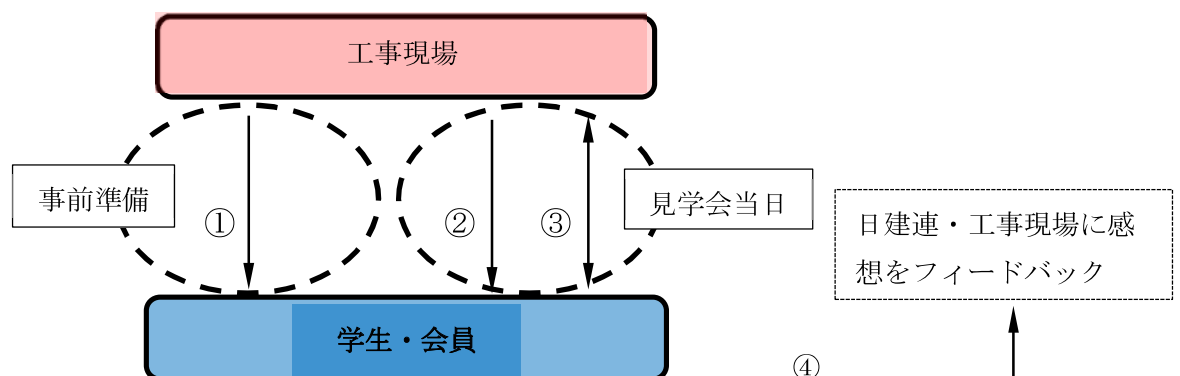
■現場見学会の流れ

- ①参加者に工事概要やパンフレットを送付し、事前に工事内容を把握してもらい、質問（工事、技術、働き方 等）について考えていただく時間を設ける。
- ②開催当日は、大学等の講義室と現場事務所をリモートでつなぎ、工事概要や施工状況、若手社員の仕事をパワーポイントや動画を用いて説明する。リモートについては Zoom を利用。
- ③工事概要等説明後、学生側から質問を受け、工事事務所長等が回答。
- ④参加者に対してアンケートを行い、今後に活用する。

■参加者の感想（アンケートより）

建設業界を志望するにあたり、年齢の近い若手職員とコミュニケーションが図れたことで、若い職員はどんな仕事をしているのかを知ることができてよかった。対面で話があればよかった。

コロナ禍でリモートによる見学となったが、学校で学んでいることと現場で行われていることのギャップも感じ、改めて実際の現場を見学できれば良いと感じた。



活動における課題、報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：（一社）富山県建設業協会

件名 現場見学会について

要旨

高校生対象に実施しようとする１クラス４０名程になるため、大人数の見学者の対応が難しい現場や、この人数の移動が大型バスになるため、現場によっては入っていけないケースもあるため、見学先の確保に苦労している。

令和4年度 高校生の建設現場見学会 参加生徒へのアンケート（つなぐ化事業に基づく調査）

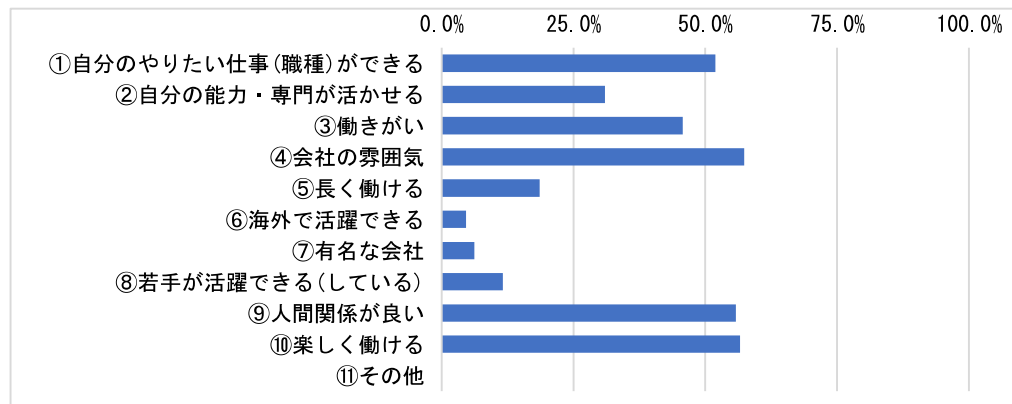
回答学生数 129人

内訳 南砺福野高校 農業環境科 28人
富山工業高校 土木工学科 37人
高岡工芸高校 土木環境科 27人
高岡工芸高校 建築科 37人

就職先として建設業を選択する前に知っておきたい情報

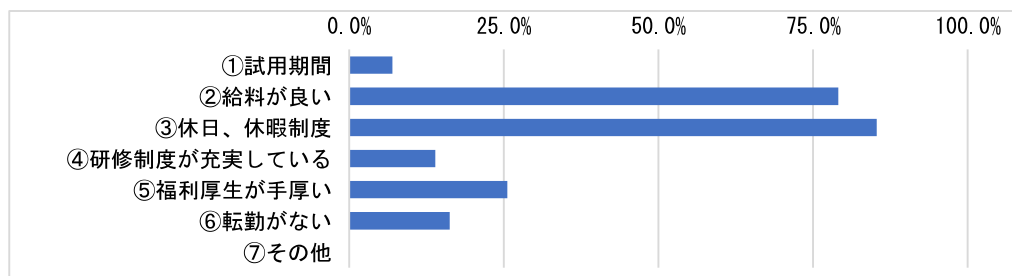
(1) やりがい、人間関係など（複数回答可）

①自分のやりたい仕事（職種）ができる	67人	51.9%
②自分の能力・専門が活かせる	40人	31.0%
③働きがい	59人	45.7%
④会社の雰囲気	74人	57.4%
⑤長く働ける	24人	18.6%
⑥海外で活躍できる	6人	4.7%
⑦有名な会社	8人	6.2%
⑧若手が活躍できる（している）	15人	11.6%
⑨人間関係が良い	72人	55.8%
⑩楽しく働ける	73人	56.6%
⑪その他	0人	0.0%



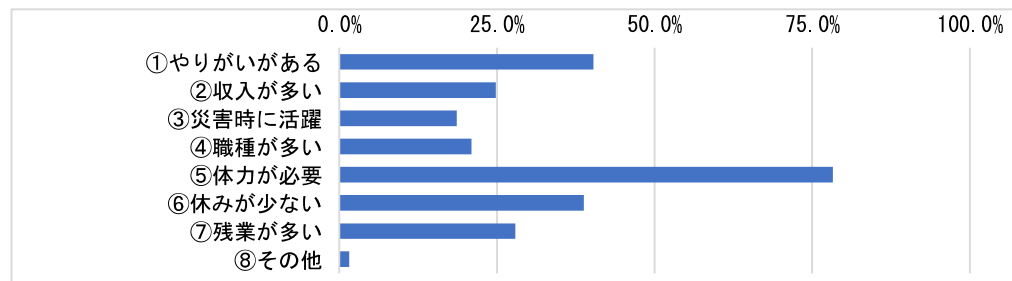
(2) 賃金、制度、待遇など（複数回答可）

①試用期間	9人	7.0%
②給料が良い	102人	79.1%
③休日、休暇制度	110人	85.3%
④研修制度が充実している	18人	14.0%
⑤福利厚生が手厚い	33人	25.6%
⑥転勤がない	21人	16.3%
⑦その他	0人	0.0%



建設業に抱いているイメージ（複数回答可）

①やりがいがある	52人	40.3%
②収入が多い	32人	24.8%
③災害時に活躍	24人	18.6%
④職種が多い	27人	20.9%
⑤体力が必要	101人	78.3%
⑥休みが少ない	50人	38.8%
⑦残業が多い	36人	27.9%
⑧その他	2人	1.6%



記述意見 大半が男性、数字が得意な人が多い、若い人が少ない

当日質問したいこと

①休日と勤務時間、②どのような人が向いているのか、③障害者もやっていけるのか、④一番むずかしいと思った仕事は

活動における課題、報告事項（※自由様式）

様式 3

機関名・団体名：（一社）富山県測量設計業協会

件名

測量・設計業への担い手確保のため、県内の31高校に訴求活動を実施

要旨

○担い手確保の新たな取組について

1) 専門学校「測量士養成コース」の設立について

我が国の人口構造変化における急激な若年層の減少、情報通信業やその他技術サービス業界での深刻な人材不足・人材獲得競争の激化、大学の旧土木系の深刻な学生数減少などにより、建設系企業の中でも特に測量・設計業は深刻な担い手不足となっています。

このため①測量・設計業の認知度の低さを改善、②就職後からではなく教育課程段階から業界の担い手を育成、③専門学校等への支援を強化し、担い手輩出の継続性を高める、などの必要があります。

上記の実現には、業界・教育機関・学生が連携した取り組みとなるよう、当協会として主体的に働きかけていく必要があります。専門学校等への支援としては、学生への訴求活動の協力、最新技術を伴う授業の提供、企業インターンシップ（実習）、卒業生の優先採用などがあり、志望学生数や採用企業数の定着化により専門学校等の経営安定化を図ることが大切です。

更に専門学校等の奨学金制度への支援について、当協会会員に寄付を募る説明会を開催し、協力をお願いしたところです。

「測量士養成コース」については、測量士補は「短期大学、高等専門学校」を卒業時にも取得できることから、合格率15%前後と取得難易度の高い「測量士」の取得を目指せる学校として新たな魅力付けを行っていくこととしています。

なお、令和3年度においては、「測量士養成コース」については生徒の応募がなかったことから、令和4年度の募集からは「空間情報コース」にコース名を変更しております。

2) 今後の高校生への働きかけについて

当協会では、担い手確保特別委員会を発足させ、今後初めて県内高校に今年制作したPRビデオなどを活用しながら業界PRを進めていくこととしております。

令和4年度においては、延べ31校に及ぶ県内の高校に訴求活動を実施しました。

その成果としては、これまでは土木系の高岡工芸高校と桜井高校からの出前講座要請のみでしたが、新たに私立の一般系高校から出前講座依頼が3件ありました。

3) 県内高校に訴求活動を実施して判明した課題について

いかに当業界が知られていないかを強く認識いたしました。

測量技術の進歩には目覚ましいものがあり、BIM/CIMが広く世間一般まで知れ渡るようになれば、担い手の確保にも変化が生じるのではないかと期待しております。

活動における課題、報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：富山県立大学

件名

活動における課題と報告

要旨

【活動における課題】

- ・地道ではありますが、現場見学や授業枠内での講義（紹介）、意見交換を引き続き実施することが重要かと思います。
- ・本年度の就活状況を見ますと、人手不足がまだ続いていることが感じられます。そのなかで、大手企業の採用に関する動きがかなり早い印象を持っています。このような動きですと、地元企業さんの人材確保に関して辛い印象が感じられます（具体的な解決策の考える必要があるかと思います）。

【報告】

- ・本学は、原則対面授業であるので、ほぼコロナ前の対応で展開しています。そのため、ウィズコロナに関して特段の取り組みはしていない状況です。
- ・学科名の変更と定員拡充に該当する学生がほとんどになりました。そのなかで、建設業関係を希望する学生の割合が徐々に増加してきました（概ね 6～7 割が建設業関係を希望）。この数年の傾向は、コンサルが増加し、官公庁希望が少なくなっています。

活動における課題、報告事項

機関名・団体名：富山県立高岡工芸高等学校

件名

富山県立高岡工芸高等学校土木環境科土木工学コースの取り組み及び進路状況

要旨

・今年度の活動

○出前講座

2 年生

型枠の組立て・鉄筋の組立て・左官作業・安全施設業の基本的な体験・
上下水道事業の体験学習・測量体験

3 年生

上下水道事業の体験学習（昨年度、感染拡大予防のため実施できなかったため）・
管工事体験型講習会・林業体験・企業の技術紹介・技能者から学ぶコンクリート施工講座

その他、今年度は現場見学（1 年生・2 年生） 等、実施

・進路状況

本校、土木工学コースの生徒において

- ・平成 29 年度から令和 3 年度まで
75～80% 建設系に就職（公務員を含む）
- ・今年度は進行中であるが、約 90% が建設系に就職予定

活動における課題、報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：富山県立南砺福野高等学校

件名

現場見学、出前講座等の実施について

要旨

建設現場見学会や出前講座などの活動は、生徒の建設関連への興味関心に繋がっていると感じる。今後もこのような活動を継続していきたいと考えており、引き続きお願いしたい。

活動における課題、報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：富山労働局

件名

令和４年度における人手不足分野に対する取組

要旨

- 1 7月6日（水）に「富山労働局人材確保対策推進協議会（※１）」を開催した。各業界団体、関係機関から人材確保に向けた取組や今後の取組予定について報告を受けて意見交換を行ったほか、今後の人材確保に向けた具体的な連携事項について協議を行った。建設業では、富山県建設業協会が構成団体として参画している。
- 2 人手不足分野における人材確保支援の強化を図ることを目的として、ハローワーク富山及びハローワーク高岡に「人材確保対策コーナー」を設置し、「求職者に対する担当者制によるきめ細やかな職業相談、職業紹介」、「求人充足に向けたコンサルティング」、「各種団体との人材確保に係るネットワークを活用した会社説明会・一社面接会や企業見学会」等を実施し、人材不足分野における人材確保に努めている。
- 3 若年者地域連携事業（委託事業）において、大学生等に対して、建設業の事業所を含む企業説明会等を開催した。建設業の参加事業所において「ユースエール認定（※２）」を受けている企業が参加しており、大学生等に建設業の魅力の発信・イメージアップにつながっている。

※１ 医療・福祉、建設、警備、運輸分野等の人材不足分野の職種関係事業主団体、関係機関、ハローワーク富山、ハローワーク高岡、富山労働局により構成。相互の施策についての理解促進を図りつつ必要な情報を共有し、人材確保に係る具体的な連携事項について協議を行う。

※２ ユースエール認定企業は、若者の採用・育成に積極的、かつ若者の雇用管理の状況などが優良であると厚生労働大臣が認定した中小企業。

認定企業については、労働局やハローワークで積極的にPRしており、面接会などについても積極的に案内している。

さらに、認定マークを自社の広告に使用することにより、優良企業であることを対外的にアピールできるほか、公共調達における加点評価が受けられるなどのメリットがある。

将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成

○建設業女性活躍支援事業

「もっと女性が活躍できる建設業支援事業」

内閣府の「地域女性活躍推進交付金」を活用し、建設企業における女性活躍推進を図るため、女子大学生と女性技術者が参加する現場見学会・座談会を開催 (H30～)

「とやま建設女子's魅力ある職場づくり支援事業」

女性の働き方に配慮した取組みや労働環境の改善に寄与する取組みへの支援を実施 (R4～)

○建設業担い手確保支援事業

処遇向上の実施を条件に、企業が実施する会社説明会等の採用活動への支援を実施 (R3～)

○建設業若者活躍支援事業

事業者団体が行う、若年層の入職・定着・育成の取組みへの支援を実施 (H30～)

- ・資格取得支援講座 <対象>在職者

土木・建築施工管理技術検定試験の短期集中対策講座の開催

- ・就職直前技能向上研修 <対象>高校生

玉掛け及び小型移動式クレーン運転技能講習の開催

- ・新入社員向け研修 <対象>新入社員

技術力向上や離職防止を図るための研修の開催



女子大学生と女子技術者との現場見学会



建設関連シゴト紹介・魅力PR冊子
「みんなでTSUKURU」

建設業イメージアップ支援

○とやま建設業団体支援事業

建設業の事業者団体が自主的に行う、イメージアップの取組みへの支援を実施 (R4～)

○「高校生インフラフォト物語～花を贈ろう～」(フォトコンテスト)実施事業

若年層の担い手確保に向けて、高校生等に建設業に興味をもってもらうため、写真を募集し駅に花と一緒に展示 (R4)



活動における課題、報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：富山河川国道事務所

件名

現場見学会について

要旨

当事務所では、富山県建設業協会と協力し、土木を志す女子大学生および高校生に、実際に現場を見ることで土木を身近に感じてもらうほか、ＩＣＴ建機や３次元測量等最新技術の体験、現場で働く女性技術者や学校の先輩達には仕事の体験談を語ってもらう等、学生の就職意識の醸成につながるよう、毎回、工夫を凝らしながら実施しているところ。

①「最近の学生は、学校の進路指導の先生が推薦しても、両親、特に母親の賛同が無いと学校が推薦した会社（建設業界）に就職しない傾向にある。」と言われており、学生に加え“我が子の就職先”という視点で母親にも参加してもらう見学会を検討したらどうか。

②土木専攻の学生のほかに、就職先に土木を選択してもらえるよう、普通科高校のまだ進路を決めかねている学生を対象にした見学会を検討してはどうか。（令和元年１０月に県立富山中部高校で出前講座実績あり）

建設業は「縁の下の力持ち」 富山中部高校進路講演会

- 目的: 県立富山中部高校において、生徒の進路意識を高めることを目的とし、各分野で活躍する社会人を講師に招き、社会人としての生き方、実際の職場の状況、大学の学問との結びつきについて講演
- 日時: 令和元年10月5日(土)13:30~14:30
- 場所: 富山県立富山中部高等学校
- 講師: 富山河川国道事務所技術系職員2名、富山県建設業協会((株)高田組1名)
- 参加者: 富山中部高等学校1年生(治水に関心がある生徒: 男子8名、女子4名)

国土交通省職員による講演



国家公務員になるための流れを説明 技術系若手職員の一日の仕事を紹介。

○一日の流れ

- 7:30 起床
- 8:20 出社
- 8:30 始業(メールチェック、スケジュールの確認)
- 9:00 会議資料の準備、要点の再チェック
- 10:00 会議(発注する工事の説明)
- 12:00 昼食
- 13:00 施事録作成(会議のメモおこし)
- 14:00 上司に内容チェック依頼、業者に作業指示
- 15:00 工事箇所の現地立ち会い
- 17:30 退庁



○入省して・・・

- ・道路、河川、砂防、海岸・・・と多様な業務を経験することができる。
- ・いろんな土地で仕事ができる。
- ・休暇がとりやすい
(今年度はGW10連休、お盆休み9連休取得)
- ・自分が発注した工事が完成した時の達成感がすごい。
- ・残業手当がしっかりつく。



休暇が取りやすい職場環境であることに興味あるように感じました。

(株)高田組堂口専務取締役による講演



工事現場に潜む危険要因について



【生徒の感想】

建設業が縁の下の力持ちであるという言葉が一番印象に残った。私たちの生活を支える重要な職業であると感じた。

活動における課題、報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：黒部河川事務所

件名

黒部河川事務所における担い手確保・育成について

要旨

1. 現場見学や出前講座について、学校側の意向等も踏まえつつ、水系一環の事業に取り組んでいる利点を活かして、計画していきたい
2. 活動の取り組みにあたっては、学校側の意向等も踏まえ、建設業協会からの協力を得つつ、柔軟に活動内容へ反映できるよう対応し、各生徒が将来の選択肢として印象深いものとしたい。
3. 実施にあたってはコロナ対応を考慮したものとする。
（消極的ではなく要望があれば積極的に実施していく）

活動における課題、報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：立山砂防事務所

件名

- ① 令和 4 年度 SABO 体験楽校
② その他

要旨

- ① SABO 体験楽校開催中は新型コロナウイルス第 7 波の影響を受けており、「with コロナ」の取り組みとして、参加高校生 3 人の健康状態に注意を配り、健康チェックシートを各参加生徒に毎朝記載し提出してもらった。
健康チェックシートは現在体温、体調の記載等の項目があり、開催期間中でも途中辞退をしてもらう等、考慮していたが、無事 3 日間開催できることができた。
- ② 立山カルデラの現地視察や体験学習、小学校の総合学習、上記の SABO 体験楽校などで立山工事専用軌道を用いているが、通常約 20 名乗車のところ、令和 4 年度は新型コロナウイルス対策（3 密対策）として最大 10 名と人数を制限しながらおこなった。



記入日 令和 年 月 日

健康チェックシート

<基本情報>

フリガナ	
氏名	

体温は何度ですか？（ ）℃

<健康状態> ※該当するものに「✓」を記入してください。

チェック項目	チェック欄
① 平熱を超える発熱がない	平熱（ ）度
② 咳（せき）、のどの痛み等の風邪症状がない	
③ だるさ（倦怠感）、倦怠しき（即感困難）がない	
④ 嗅覚や味覚の異常がない	
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等の症状がない	
⑥ その他、気になること（以下に自由記述）	

SABO 体験楽校参加者へのおお願い

- 乗車当日に検温のうえ、参加前に健康チェックシートに記入し必ず提出ください
- 熱がある、咳が出る、喉が痛いなどの症状がある方はご参加いただけません
- 案内者または係員が感染検査をおこなう場合がありますので、ご協力をお願いします
- 移動中の車両をのり乗る際はマスクを着用ください
- 定時終了時の手洗いや手指消毒など感染拡大防止マナーにご協力ください
- 乗車中のフィジカルディスタンス確保にご協力ください
- 車内での談話・食事・大声での会話はお控えください
- 手洗いや手指消毒は乗降機会利用のため各自でお願ひします
- 視察中に発熱や風邪症状（咳の痛み、喉、倦怠感等）、味覚（嗅覚）障害などがあらわれた場合は、安全確保のため乗車を一旦中止していただきます。案内者または係員の指示に従ってください

活動における課題、報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：利賀ダム工事事務所

件名

将来の進路として建設業界を選択いただくために

要旨

コロナ禍での新たな取り組みとして、令和3年度より利賀ダム工事事務所、業務・工事受注者と連携し、石川工業高等専門学校へのリモート出前講座（Teams で接続）を実施している。建設業界の各者の立場で社会資本整備の役割などをDX関連の取り組み状況も交え幅広く紹介している。参加した生徒から好評な感想を得ており、令和4年度も継続実施している。今後、富山県内の大学、高校等への展開も取り組めればと考えている。

※この取り組みにおいては、参加者にアンケートをとっており、講座時間内で質問できなかった内容を抽出し、協力会社と分担協力し、後日、回答・助言等を取りまとめ学校へ送付し進路選択に役立てていただいている。

また、現場見学においても、生徒により興味をもらうよう利賀ダム工事事務所で開設したDXルームの紹介や協力会社と連携し最新のUAV測量技術の紹介やICT建機の体験を交えるなど工夫し、将来の進路として意識していただけるよう努めている。

・その他として

利賀ダムを現場見学いただく際、移動時間を要します。コロナ禍であることから、見学者のバス等へ同乗し車内説明などは行っていないため、リクルート用の紹介ビデオを流すなど、移動時間を有効活用する工夫も必要と考えている。

※車両によっては、用意していたDVDが読み込めないなどの事例もあり。